



北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

今月のテーマ

外国人留学生へ寄せる期待

一般社団法人北海道介護福祉士会 理事 織田 なおみ 氏
日本医療大学総合福祉学部 介護福祉マネジメント学科／助教



I 福祉分野における外国人介護人材の増加

飲食業、農業、製造業等、様々な現場で働く外国人は、今や身近な存在となりました。外国人の労働力に頼らないと、この国の経済は立ち行かないところにまで来ています。厚生労働省によりますと、2024年10月時点で外国人労働者は230万人と発表されており、前年比で12.4%も増加しています。日本人の若年層における人材不足が深刻な中、医療・福祉分野が28.1%と最も高い伸び率となっています。

わが国における外国人介護人材の受け入れ制度・政策としては、①EPA（経済連携協定）に基づく外国人介護福祉士候補者の受け入れ（2008年度より）、②養成施設ルートで介護福祉士資格を取得した外国人留学生に対して創設された新たな在留資格「介護」（2017年9月より）、③外国人技能実習制度の見直しによる介護分野への対象職種の追加（2017年11月より）、④出入国管理および難民認定法の改正により創設された介護分野でも適用できる新たな在留資格「特定技能」（2019年4月より）の4つが存在しています。

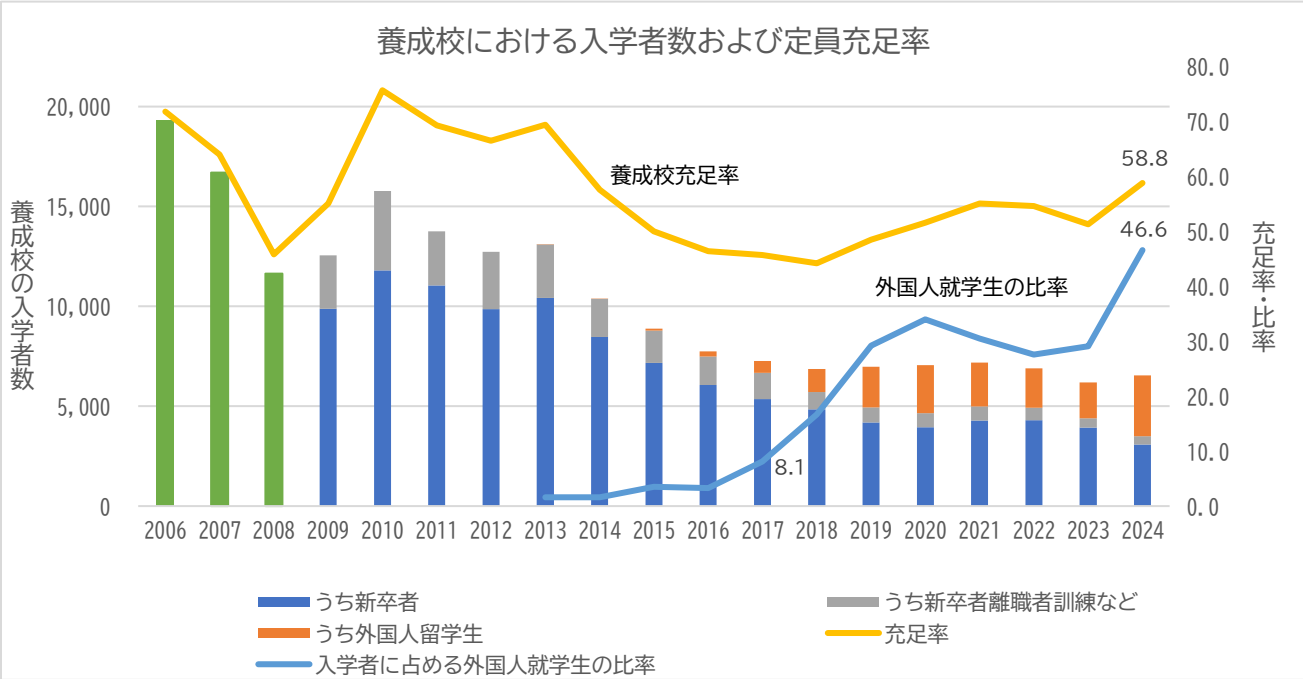
2024年12月時点での特定技能外国人在留者数は約4万4千人で、過去最多となっています。また、EPAは2020年をピークにその後は減少傾向にあるものの、2024年度までに、8,264人の介護福祉士候補者が来日しており、介護分野の技能実習生として働く外国人は、2024年時点で2万人に達していると発表されています。さらに、「在留資格」介護を目指す留学生は、2024年時点で15,500人以上来日しており、介護福祉士養成施設へ入学し介護福祉士資格の取得に向けて国家試験を受験しています。

II 養成施設の入学者数・定員充足率における外国人留学生

2024年度までの養成施設入学者数と留学生数および定員充足率等を表に示します（表1）。様々な要因によって、入学者が激減し養成校が危機的状況にあることは、よくご存知のことと思います。新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの影響により、外国人の入国に影響はあったものの、外国人留学生の入学者数は年々と増え続け、2024年には、25か国から3,054名もの留学生が入学し、入学者数全体の46.6%を占めるようになりました。外国人留学生の入学が本格化した2017（平成29）年と

比較すると実に 5 倍以上の数値です。このように、多くの外国人留学生が入学したことにより、落ち込んでいた定員充足率は 58.8%にまで回復しました。

表1 養成校における入学者数および定員充足率									
入学定員 入学者数	2006 平成18	2007 平成19	2008 平成20	2009 平成21	2010 平成22	2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	
	26,855	26,095	25,407	22,761	20,842	19,858	19,157	18,861	
	19,289	16,696	11,638	12,548	15,771	13,757	12,730	13,090	
	うち新卒者			9,877	11,800	11,042	9,853	10,427	
	うち新卒者離職者訓練など			2,671	3,971	2,715	2,877	2,663	
	うち外国人留学生							21	
	充足率	71.8	64.0	45.8	55.1	75.7	69.3	69.4	
入学者に占める外国人就学生の比率								1.6	
入学定員 入学者数	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	2021 令和3	
	18,041	17,769	16,704	15,891	15,506	14,387	13,659	13,040	
	10,392	8,884	7,752	7,258	6,856	6,982	7,048	7,183	
	うち新卒者	8,464	7,164	6,060	5,360	4,847	4,180	4,288	
	うち新卒者離職者訓練など	1,911	1,626	1,435	1,307	867	765	706	
	うち外国人留学生	17	94	257	591	1,142	2,037	2,395	
	充足率	57.6	50	46.4	45.7	44.2	48.5	51.6	55.1
入学者に占める外国人就学生の比率		1.6	3.5	3.3	8.1	16.7	29.2	34	30.5
入学定員 入学者数	2022	2023	2024						
	令和4	令和5	令和6						
	12,467	12,089	11,139						
	6,802	6,197	6,549						
	うち新卒者	4,296	3,930	3,084					
	うち新卒者離職者訓練など	626	465	408					
	うち外国人留学生	1,980	1,802	3,054					
	充足率	54.6	51.3	58.8					
	入学者に占める外国人就学生の比率		27.6	29.1	46.6				
※平成18（2006）年～平成25（2013）年は厚生労働省のデータを参照									
※平成26（2014）年以降は介養協のデータを参照									
※表内の空欄は該当数値が不明としている									



※平成 18（2006）年～平成 25（2013）年は厚生労働省のデータを参照
※平成 26（2014）年以降は介養協のデータを参照
※2006 年～2008 年は、入学者数の内訳が不明

Ⅲ 国家試験の合格率

しかしながら、このように、養成施設に入学し介護福祉士を目指す留学生が増える一方で、国家試験の合格率は、あまり芳しくありません。表 2 は、第 31 回から第 36 回までの介護福祉士国家試験における合格率です。2020 年度の国家試験を境に、全体の合格率に対し養成施設の合格率が低くなっています。

表2 介護福祉士国家試験合格率の内訳

年度	回	全体の 合格率 (%)	養成校の合格率 (%)			(養成校のうち) 留学生を除く合格率 (%)			(養成校のうち) 留学生の合格率 (%)		
2018 (平成30)	31	70.8	88.3	(新卒)			(新卒)		38.0	(新卒)	
				(既卒)			(既卒)			(既卒)	
2019 (令和元)	32	69.9	80.0	(新卒)			(新卒)		26.8	(新卒)	
				(既卒)			(既卒)			(既卒)	
2020 (令和2)	33	71.1	72.9	(新卒)	77.8	88.7	(新卒)	93.7	34.1	(新卒)	36.7
				(既卒)	26.9		(既卒)	33.4		(既卒)	16.5
2021 (令和3)	34	72.3	65.3	(新卒)	72.3	88.5	(新卒)	93.1	25.1	(新卒)	30.0
				(既卒)	18.1		(既卒)	35.1		(既卒)	7.3
2022 (令和4)	35	84.3	75.6	(新卒)	81.7	94.8	(新卒)	97.8	46.3	(新卒)	50.3
				(既卒)	45.4		(既卒)	66.1		(既卒)	37.0
2023 (令和5)	36	82.8	71.5	(新卒)	82.8	93.5	(新卒)	95.9	37.6	(新卒)	52.3
				(既卒)	17.9		(既卒)	45.7		(既卒)	12.1

※該当数値が不明な場合は空欄としている

※厚生労働省「第33回～36回介護福祉士国家試験養成施設等別合格率」を参考に筆者作成

※厚生労働省「第32回～36回介護福祉士国家試験合格発表」を参照に筆者作成

※2018年および2019年の養成校および留学生の合格率に、既卒生は含まない

※「養成校」には福祉系高等学校（専攻科）を含まない

養成施設の留学生を除く合格率だけを見ると、全体の合格率を上回っており留学生の合格率が低迷していることが分かります。厚生労働省によれば、第 36 回（2024 年 1 月試験）の国家試験において、外国人留学生の新卒者は受験者 1,843 名中、合格者が 963 名で合格率は 52.3%でした。前年の 50.3%から 2 ポイント、実数にして 27 名増えたとのことでした。

他方、留学生からの既卒者は受験者 1,065 名に対し、合格者は僅か 1 割の 129 名とのことでした。卒業後に同試験に合格し在留資格「介護」を取得することも可能であるとはいえ、既卒で合格するには実情的に至難の状況であると言わざるを得なく、日本で介護福祉職に就き、長期間活躍するには在学中の合格が極めて重要であることが分かります。

Ⅳ 外国人留学生への期待

冒頭に述べましたが、わが国の経済は、外国人の労働力に頼らないと立ち行かないところにまで来ていて、介護福祉の現場では、介護人材の慢性的な不足が喫緊の課題となっています。このような現状の中、外国からの介護に従事しようとする人材（財）は非常に貴重であり、専門的知識・技術を身につけようとする外国人留学生の存在は、わが国にとって、とても大切な存在となっています。この国の介護福祉の現場を支える大きな力となる外国人留学生の活躍に、期待をせざるを得ません。介護福祉士は、対人援助専門職です。養成施設で学ぶ専門的知識や技術は介護実践に不可欠であり、養成施設は責任をもって養成し介護現場はそれらを十分に活かせるような環境でなければなりません。

多くの外国人が日本の介護福祉職に従事しようと来日するわけですから、介護現場と養成施設が連携・協力して、サポート・フォローすることがこの上なく大切なことと感じます。



◆読者へのメッセージ

今、介護現場は、多様な教育背景や経験値、多様な国籍等、多様な人材が存在しています。わが国における外国人介護人材の受け入れ制度・政策は、4 つのルートがありますが、その中でも外国人留学生の現状や国家試験の合格率等について整理しました。

〔執筆者の紹介〕

職場：日本医療大学 総合福祉学部 介護福祉マネジメント学科

職階：助教

ホームページ：<https://www.jhu.ac.jp/>



医療と福祉の現場から誕生した
日本医療大学



一般社団法人北海道介護福祉士会

介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・
経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に
寄与している団体です。 ★ 新入会員募集中 ★

TEL&FAX 011-222-5200



ホームページ
はコチラ



入会のご案内
はコチラ

令和7年度第1回福祉人材ステップアップ講習会



福祉職場の“あるある”が教えてくれる！

明日から
役立つ
ヒューマンスキル

心理学を
活かした

参加
無料

未経験者
歓迎

職員間や利用者との関係性の中で「なぜ、あの人はああいう行動をするのか」と考えたり、悩んだりしたことはありませんか。
福祉職場でよく見られる事例“あるある”を取り上げながら、
良好な人間関係を築くための実践的なコミュニケーションのコツや
テクニックを学びます。

申込方法

右記、二次元
バーコードより
お申し込みください



問合せ先

☎ 011-272-6662

2025年

日時 8月8日 金

9:45～12:00（受付 9:15～）

会場

かでの2.7『710会議室』
（札幌市中央区北2条西7丁目1番地7階）

対象

- ・福祉職場への就職希望者
- ・福祉職場に興味のある方
- ・研修テーマに関心のある就労中の方

定員

40名（先着順）
※定員になり次第締め切ります。

講師

岩野 卓 氏

公認心理師・博士
（臨床心理学）

認知行動コンサルティングオフィスしごと×
こころラボ代表



<https://cb-consulting.site/syocho>

※本講習会は雇用保険受給等にかかる「求職活動実績」に該当します。

主催 社会福祉法人北海道社会福祉協議会
後援 厚生労働省北海道労働局



北海道福祉人材センター

福祉・介護の仕事に関心がある方ならどなたでも参加できます



高齢
障がい
児童

福祉職場
説明会



日時

9月7日 日

9:30～14:30

（受付開始9:00）

会場

札幌ビューホテル

大通公園 地下2階（札幌市中央区大通西8丁目）

資格・経験不問

服装・入退場自由

事前申込み受付中



ご感想入力フォーム



「ふくし・かいご通信」をお読みいただきありがとうございます。

皆さまからのご感想をお待ちしております！！

北海道福祉人材センターでは、福祉職場への就職に関する相談を
随時受付けております。お気軽にお問合せください。

TEL 011-272-6662

発行：社会福祉法人北海道社会福祉協議会
北海道福祉人材センター